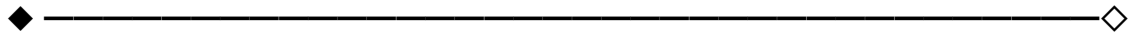


## Monthly Report 月間報告

2005 年 8 月



### ◇ご挨拶と近況◇

皆様いかがお過ごしでしょうか？いつものご支援、お祈りを感謝いたします。

エチオピアは新年を 9 月 11 日に迎え、1998 年となりました。私たちの団体の活動、予算などはすべて日本と同じカレンダーを使っているものの、同僚たちはいつも新年を祝う年賀状のようなカードをこの時期に出します。やっぱりエチオピア人はどんなに海外の情報やシステムが入っても、そう簡単には左右されないようです。



### ◇ プロジェクトアップデート(活動報告)◇

あいのり学校は開校まであと一ヶ月となりました。建設は順調に進み、あとはペンキ(ピンク色)で塗る作業が残っています。子供たちも建設初期の段階に、水汲みなどで手伝ってくれたこともあるので、完成が待ち遠しいようです。

さて、今月はズワイという街で多くの孤児たちの写真撮影や情報収集をしてきました。HIV-AIDS の感染率が 11%という街にて、多くの孤児たちが出てきてしまっていることから、里親さんを募ることで子供たちの教育支援ができないかという提案に、FHI アメリカが協力し、準備に取り掛かっているところです。しかし、もともと貧しさ故に父親が首都に出稼ぎへ行ったまま帰らず、母親しかいない子や、慢性的な病気や事故で両親を亡くした子供たちもいるので、一概にすべての孤児が HIV-AIDS によるものとは言えません。しかし、中にはすでに父親を最近 AIDS で亡くし、現在生きている母親も AIDS 感染していることが判明している上に、小学生の子供二人の教育費を賄えず、そして妊娠までしているというケースまでありました。

ほとんどの孤児たちは親戚や隣近所の人々によって助けられています。自分たちの生活を維持することで精一杯の彼らにとっては、新たな孤児の生活を支え、また学校へまで送ることは容易ではありません。私たちとしては、孤児院のように、孤児の一生を抱え込むような支援よりも、孤児を取り巻くコミュニティー全体が孤児を長年支えていけるようなお手伝いをするべきだという考えを持っています。継続性を考えた上での活動が必要だからです。しかし、時には上で触れた家族のように、継続性も然ることながら、とにかく今この時の必要に応えなければいけないような事態が目前にあることも事実。一方で依存性を植えつけるような支援はよくない…。悶々とそんなことを考えながら、約 400 人の子供達の写真を撮影しました。貧困、HIV-AIDS といったエチオピアの

典型的な問題の真っ只中にある彼らを撮影し終え、パソコンで一枚一枚の写真を観察した時、それぞれの子供たちのいい笑顔が撮れたことが分かりました(いくつか添付します)。エチオピアは色々な問題が詰まった国だけでも、この子供たちがいる限りは、まだまだ大丈夫、希望があるな、とふと安心したものです。日本はどうでしょうか？



---

◇ そのほかの出来事◇

・ アジスアベバから南 165 キロにあるズワイという街にて、アメリカによる里親会(スポンサーシッププログラム)プロジェクト開始準備活動のお手伝い。合計 500 人の子供を選び、写真撮影、情報収集、データ入力作業など。

---

◇ 今月の言葉◇

「どんなに上がったり下がったりしようと、どんな人間の経験にも、かならず意味があります。どんな経験も、ほかでは決して学べないことを教えてください。神様は人間に、必要以上の試練をあたえたりしません。」

エリザベス・キューブラー・ロス(アメリカの精神科医)

「そればかりではなく、患難さえも喜んでいきます。それは、患難が忍耐を生み出し、忍耐が練られた品性を生み出し、練られた品性が希望を生み出すことを知っているからです。」

新約聖書ローマ人への手紙 5 章 3-4 節



◇覚えてほしいこと、祈ってほしいこと・・・◇

1. エチオピアの政治について。8 月中旬に行われた再選挙の実施地域と、ソマリ州での結果も、最終的に政権党の圧勝ということですが、あまりにも露骨な不正行為があったことから、EU が表立ってエチオピア政府の非難をしました。かなりの議席を確保した野党ですが、選挙の結果のみならず、プロセスに不満があることから、不正に対しての訴訟を起こそうとまでしています。しかし、どこまで正義がそれによって追求されるのかは疑問です。このまま現政権が今後 5 年の政治を司ることになりますが、独裁政権の色を更に濃くしてきているものの、しっかり民衆の声が反映された政治が実施されますように。
2. いよいよ来月 10 月 8 日にあいのり学校の完成式。フジテレビからの取材受け入れなどをします。
3. 日本にいる家族の健康のため。
4. 来年 3 月以降の進路のため。



◇あとがき◇

日本の参院選は自民の圧勝。今回は郵政民営化という課題が大きく前面に出ていただけに分かりやすい選挙で、在エチオピア日本大使館で在外選挙権を使って投票した人もこちらでは多かったようです。私も投票してきました。

それにしても、1 日と経たずに選挙結果が分かってしまう日本の効率良さに改めて感心します(当たり前なのでしょうけど)。一方、それに 2 ヶ月以上を要したエチオピア。開票の過程で数十人が政府によって殺害される。その結果を巡って訴訟騒ぎになるという状況。政治の歩みはそれぞれでも、国のリーダーシップが人々の生活にじわじわと影響を及ぼすという点では同じです。エチオピアの安定のためにぜひお祈りください。為政者への祈りは大切です。

それではまた来月。

## 2005年9月

### ◆ ————— ◆ ご挨拶と近況◇

まあまた報告が遅くなってしまいました。申し訳ございません。皆様いかがお過ごしでしょうか？お祈り、ご支援を感謝いたします。

雨季が終わるはずの今月でしたが、結局月末まで降り続けている状態でした。9月から10月は、エチオピアでは黄色の野花が咲き巡る季節を向かえ、じめじめした雨季のあとの、なんとも清々しい心地がします。来年はこの花々を見ることが出来ないと思うと、少しさびしい感じがします。

### ◆ ————— ◆ ◇ プロジェクトアップデート(活動報告)◇

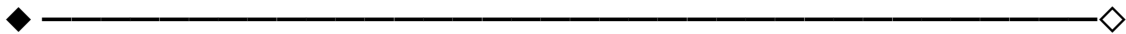
9月中の報告にはなりません、10月8日に行われたあいのり学校の完成式のこと。フジテレビからの方をお迎えしてついにピンクの学校完成！適切なペンキが見つからず、結局色々な色を混ぜ合わせたために、ちょっと派手な色となってしまいましたが、中は白で塗り、壁には大きな窓とドアを取り付けたことで、とっても中が明るくなり、これまで暗くてノートに書く文字しっかり読めなかった子供たちは喜んでいました。政府高官も出席しての式が終わり、今学期からはこれまでの4年生に加えて、新たに5年生を新設することになり、これから先生の配属、クラス編成などの調整に

入ります。地域住民と地元政府がしっかり協力して学校を維持管理していく体制を作っていく、そのお手伝いをしていくことが、これからの課題で、政府事務所やコミュニティーを行ったりきたりするために、あいのりクルーザーはこれからも活躍します。

とにかく帰国前にひとつの形が整ったことは私にとってもよい経験となりました。

「あいのり」という若者に人気のある番組を通して、更にエチオピアのことが日本に知れ渡るようになればと願ってやみません。





◇ そのほかの出来事 ◇

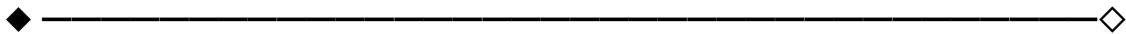
- ・ エチオピア正月。
- ・ 私の後任者が日本からエチオピアへ来訪。プロジェクト地域へのご案内。
- ・ あいのり学校完成式の準備など。



◇ 今月の言葉 ◇

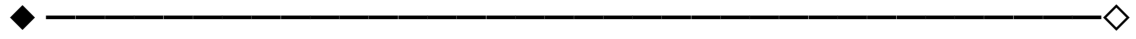
「神は、私たちが御怒りに会うようにお定めになったのではなく、主イエス・キリストにあって救いを得るようにお定めになったからです。」

新約聖書テサロニケ人への手紙第一 5 章 9 節



◇ 覚えてほしいこと、祈ってほしいこと・・・ ◇

1. エチオピアの政治について。結局エチオピア議会が開始されたものの、野党の意見が正当に受け入れられるような議会ではない、ということで野党の議員が議会中に退席するといったことが起きています。海外にいるエチオピア人は至るところで独裁政治への非難、国際社会への働きかけをしているところですが、いざ国内は軍隊の力を握った政権なので、押し黙った様子です。どうぞ続けて健全な政治のためにお祈りください。
2. 10月8日にあいのり学校の完成式。
3. 日本にいる家族の健康のため。
4. 来年3月以降の進路のため。



◇あともがき◇

今回の完成式の様子は「あいのり」にて後日放映されます。日時が決定した際には皆さんにご連絡いたします。お楽しみに。

それではまた